

歯科矯正学 実習

2単位 4年(後期)

Orthodontics

田中 栄二・教授/歯学科 歯科矯正学講座(口腔顎顔面矯正学), 黒田 晋吾・准教授/歯学科 歯科矯正学講座(口腔顎顔面矯正学)

堀内 信也・助教/歯学科 歯科矯正学講座(口腔顎顔面矯正学), 泰江 章博・助教/歯学科 歯科矯正学講座(口腔顎顔面矯正学), 藤原 慎視・助教/歯学科 歯科矯正学講座(口腔顎顔面矯正学)

川合 暢彦・助教/歯学科 歯科矯正学講座(口腔顎顔面矯正学), 木内 奈央・助教/歯学科 歯科矯正学講座(口腔顎顔面矯正学)

【授業目的】 歯科矯正学講義で履修した矯正装置を自分で作製することで、装置に対する理解を深めることを目的とし、矯正装置の作製方法や技工の手技を修得することを目的とする。

【授業概要】 実習では、歯科矯正治療に用いられる矯正装置のうち基本的な矯正装置を実際に作製する。各担当教員の指導に従い各自が装置を作製する。

【授業形式】 実習

【授業方法】 講義型式 ビデオ, スライドを適宜用いる

【授業場所】 第5実習室

【授業テーマ】 講義で得た知識をもとに、治療に用いる矯正装置の実際を学ぶ。

【キーワード】 [キーワード]

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【履修上の注意】 ①受講者は毎回実習前に予習し、学習のポイントをノートにまとめておくこと。 ②実習開始前に復習確認のための小テストを行うことがある。

【到達目標】 (<> 内はコアカリ対応)

1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。
3. 矯正用ワイヤーの特性と鑲着方法を説明できる。
4. 舌側弧線装置の作製手順を説明でき、その装置による歯の移動様式を説明できる。
5. マルチブラケット治療の手順を説明でき、ワイヤーの特性と歯の移動様式を説明できる。
6. 矯正治療に必要な力学を説明できる。
7. 機能的矯正装置を説明でき、咬合採得から装置作製までを説明できる。

【授業計画】

	大項目	中項目	到達目標	担当
1.	ガイダンス 実習器具配付 線屈曲	0.9 mm 線の屈曲	1, 2	全員
2.	自在鑲着	自在鑲着	2	〃

3.	機能的矯正装置 (FKO)	模型調節, 構成咬合採得 構成咬合器への模型の取り付け	6, 7	〃
4.	〃	外形線の記入, 誘導線の屈曲	〃	〃
5.	〃	ワックス仮床圧接, ワックス仮床接合	〃	〃
6.	〃	ワックス仮床の形成	〃	〃
7.	タイポドント実習(舌側弧線装置)	タイポドント貸与, 帯環調整, STロック維持管鑲着, バッカルチューブの鑲着	4, 6	
8.	〃	印象採得, 作業用模型, 主線設計, STロック脚部屈曲	〃	全員
9.	〃	主線屈曲, 主線と脚部の鑲着, バンドのセメント合着	〃	〃
10.	〃	補助弾線鑲着・調整, タイポドント実習	〃	〃
11.	タイポドント実習(マルチブラケット装置)	ブラケットのボンディング, ワイヤーボンディング(チャート)	5, 6	〃
12.	〃	0.014 インチワイヤー屈曲, タイポドント実習	〃	〃
13.	〃	0.016 インチワイヤー屈曲, タイポドント実習	〃	〃
14.	〃	タイポドント実習	〃	〃
15.	実習器具の返却 実習試験	実習器具の返却 実習試験	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	〃

【成績評価】 実習作品と実習内容に対する理解度および実習態度を総合評価する。

【再試験】 適宜行う

【教科書】

- ◇ 参考書: 歯科矯正学実習書, 医歯薬出版, 1983
- ◇ 参考書: 可轍式矯正装置入門, クインテッセンス出版, 1990
- ◇ 参考書: The Clinical Management of Basic Maxillofacial Orthopedic Appliance, PSD, 1997

【参考書】 [参考資料]

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217312>

【連絡先】

- ⇒ 田中 (088-633-7356, etanaka@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・教授室)
- ⇒ 黒田 (kuroda@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第5研究室)
- ⇒ 堀内 (088-633-7357, horiu@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)
- ⇒ 泰江 (088-633-7357, yasuea@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)
- ⇒ 藤原 (shinji@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第5研究室)
- ⇒ 川合 (088-633-7357, kamo@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)
- ⇒ 木内 (naok@dent.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)

Orthodontics

2 units 4th-year(2nd semester)

Eiji Tanaka · PROFESSOR / ORTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY, Shingo Kuroda · ASSOCIATE PROFESSOR / ORTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY, Shinya Horiuchi · ASSISTANT PROFESSOR / ORTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY
 Akihiro Yasue · ASSISTANT PROFESSOR / ORTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY, Shinji Fujihara · ASSISTANT PROFESSOR / ORTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY, Nobuhiko Kawai · ASSISTANT PROFESSOR / ORTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY
 Nao Kinouchi · ASSISTANT PROFESSOR / ORTHODONTICS, COURSE IN DENTISTRY

Target) 歯科矯正学講義で履修した矯正装置を自分で作製することで、装置に対する理解を深めることを目的とし、矯正装置の作製方法や技工の手技を修得することを目的とする。

Outline) 実習では、歯科矯正治療に用いられる矯正装置のうち基本的な矯正装置を実際に作製する。各担当教員の指導に従い各自が装置を作製する。

Style) Practice

Manner) 講義型式 ビデオ, スライドを適宜用いる

Location) 第5実習室

Theme) 講義で得た知識をもとに、治療に用いる矯正装置の実際を学ぶ。

Keyword) [キーワード]

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Notice) ①受講者は毎回実習前に予習し、学習のポイントをノートにまとめておくこと。②実習開始前に復習確認のための小テストを行うことがある。

Goal) (<> 内はコアカリ対応)

1. 矯正治療に用いる器材の名称と使い方を説明できる。
2. 矯正装置の種類と用途を説明できる。
3. 矯正用ワイヤーの特性と鑲着方法を説明できる。
4. 舌側弧線装置の作製手順を説明でき、その装置による歯の移動様式を説明できる。
5. マルチブラケット治療の手順を説明でき、ワイヤーの特性と歯の移動様式を説明できる。
6. 矯正治療に必要な力学を説明できる。
7. 機能的矯正装置を説明でき、咬合採得から装置作製までを説明できる。

Schedule)

	大項目	中項目	到達目標	担当
1.	ガイダンス 実習器具配付 線屈曲	0.9 mm 線の屈曲	1, 2	全員
2.	自在鑲着	自在鑲着	2	〃

3.	機能的矯正装置 (FKO)	模型調節, 構成咬合採得 構成咬合器への模型の取り付け	6, 7	〃
4.	〃	外形線の記入, 誘導線の屈曲	〃	〃
5.	〃	ワックス仮床圧接, ワックス仮床接合	〃	〃
6.	〃	ワックス仮床の形成	〃	〃
7.	タイポドント実習 (舌側弧線装置)	タイポドント貸与, 帯環調整, ST ロック維持管鑲着, バッカルチューブの鑲着	4, 6	
8.	〃	印象採得, 作業用模型, 主線設計, ST ロック脚部屈曲	〃	全員
9.	〃	主線屈曲, 主線と脚部の鑲着, バンドのセメント合着	〃	〃
10.	〃	補助弾線鑲着・調整, タイポドント実習	〃	〃
11.	タイポドント実習 (マルチブラケット装置)	ブラケットのボンディング, ワイヤーバンディング (チャート)	5, 6	〃
12.	〃	0.014 インチワイヤー屈曲, タイポドント実習	〃	〃
13.	〃	0.016 インチワイヤー屈曲, タイポドント実習	〃	〃
14.	〃	タイポドント実習	〃	〃
15.	実習器具の返却 実習試験	実習器具の返却 実習試験	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	〃

Evaluation Criteria) 実習作品と実習内容に対する理解度および実習態度を総合評価する。

Re-evaluation) 適宜行う

Textbook)

- ◇ 参考書: 歯科矯正学実習書, 医歯薬出版, 1983
- ◇ 参考書: 可搬式矯正装置入門, クインテッセンス出版, 1990
- ◇ 参考書: The Clinical Management of Basic Maxillofacial Orthopedic Appliance, PSD, 1997

Reference) [参考資料]

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217312>

Contact)

- ⇒ Tanaka (+81-88-633-7356, etanaka@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・教授室)
- ⇒ Kuroda (kuroda@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第5研究室)
- ⇒ Horiuchi (+81-88-633-7357, horiu@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)
- ⇒ Yasue (+81-88-633-7357, yasuea@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)
- ⇒ Fujihara (shinji@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第5研究室)
- ⇒ Kawai (+81-88-633-7357, kamo@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)
- ⇒ Kinouchi (naok@dent.tokushima-u.ac.jp) [MAIL](#) (Office Hour: 月火木金17:00~ 18:00/3F 矯正・第1研究室)